

さい 季刊誌

彩のけんこう

発行所

公益社団法人
埼玉県柔道整復師会

発行人

会長 大河原 晃

編集人

楠美 明人

CHECK!



「119番」で救急車を 要請するときのポイントとは?



急な病気やけがをしたときに救急車を呼ぼうかどうか、迷うことはありませんか。突然の重い病気やひどいケガなど、緊急性が高いときは、すぐに救急車の要請が必要です。一刻を争う状況では、必要な情報を簡潔に伝えることが大切です。

① 救急であることを伝える

② 119番通報をしたら、
まず「救急です」と伝えてください。

③ 救急車に来てほしい住所を伝える

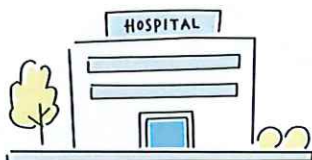
④ 住所は、必ず、市町村名から伝えてください。

住所が分からない時は、近くの大きな建物、
交差点など目印になるものを伝えてください。

⑤ 具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に
伝えてください。

また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてく
ださい。



⑥ 具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時
は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので
伝えてください。

⑦ あなたのお名前と連絡先を伝える。

あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番
号を伝えてください。

場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。



一方で、救急車や救急隊員の数は限られていますので、
症状の軽いかたが安易な救急要請をすることは望ましくありません。